



仮歯はこんなに役に立つ！

たんなる代用品ではありません。

当院では冠を作る時にプラスチックの仮歯をお作りします。この仮歯は治療途中の口の中で働き、最終的には正式なかぶせ物に交代するのです。「仮」の存在なので軽く思われがちですが、よい治療を生み出すため、欠くことのできない重要な脇役です。そこで、奥の深い仮歯の世界をご紹介します。

仮歯、お役立ち集！

削ったところを守る

削って治療中の歯は、歯質がむき出しになります。神経の生きている歯ではひどくしみます。また、削った表面が汚れて新たな炎症の原因になっては大変です。歯質を守るために仮歯が役に立ちます。

食事がラクになる

治療中食べる事に支障が出ないようにする為に、仮歯を入れます。あまり硬いものは噛めず、食べる物に気をつけていただくなくてはなりません。それでも次の治療までの間、おいしく食事をしていただく事ができます。

話しやすくなる

前歯のところに隙間ができることに見た目の印象だけでなく、発音にも支障をきたしてしまいます。仮歯を入れると空気がもれないので話しやすくなります。



こんなに働きものです

見た目が変わらない

特に前歯の治療中、歯が無いと口元の印象が悪くなってしまいます。治療の途中でも患者様の印象があまり変わらないように仮歯を入れます。

歯ぐきの変化を防ぐ

歯を削ると、いままで歯にどかさされていた歯ぐきが、削った分の空いたスペースに広がり、おおいかさってきます。かぶせ物を入れる時の邪魔にならないように、また余分に広がった歯ぐきがこすれて炎症を起こしたり、汚れが溜まりやすくなるように仮歯をいれます。

歯の移動を防ぐ

歯を削ると、周囲の歯との間に隙間ができ、ピタリと並んで支えあっていた歯が動きはじめます。周囲の歯が倒れたり出っ張ったりすると、出来上がったかぶせ物が入らなくなったりして治療を妨げます。仮歯を入れて歯並びや噛み合せの調和を保ちます。

BE CAREFUL!

「仮歯が入れば十分だから」と受診を中断するのは止めましょう。仮歯は長持ちしないばかりか、かえてトラブルが深刻化し治療が複雑になってしまいます。治療には最後まで通いましょう。

当院では型を採る際に歯と歯ぐきの境目の部分に糸をまきます。これを歯肉圧排といいます。圧排をする事により精密な型を採ることができ、正確で適合の良い冠（かぶせ物）をお作りすることが出来る訳です。

